



地域学校協働本部だより

令和4年11月22日発行 NO.10
港区立赤羽小学校 校長 中村 美奈子
地域コーディネーター 石川 啓子
月井 洋次
地域学校協働本部担当 見目 純一
大谷 俊貴

11月後半の玄関装飾

今回の装飾のテーマは「大縄大会と七五三」です。12月上旬に秋の一大イベント、大縄大会が行われます。各クラス、記録更新に向けて練習が始まります。目標をもって臨み、達成感を味わえる行事となることを願っています。七五三は折り紙の作品が増えました。昔は子供の死亡率がとても高く、宮中や公家では無事に成長することを祈る様々な儀式が節目ごとに行われていました。具体的には、三歳は「髪置き」といって髪を伸ばし始めました。五歳男子の「袴着(はかまぎ)」は、初めて袴をつける儀式です。室町時代から11月15日に行われていました。現代でも宮中では古式にのっとった「着袴の儀」が行われています。七歳は「帯解」といって、今までひもを縫い付けた着物を着ていたのを、大人のように帯を結んで着るようになったことを祝う儀式です。いずれも、子供の成長の節目に行われ、子供が元気で無事に育つことを願っています。

24節季は「小雪」です。寒さが一段と厳しくなりました。「小雪」・「大雪」・「冬至」と今年が終わり、「小寒」(1/5頃)「大寒」(1/21頃)と冬の季節が過ぎていきます。



消防団の仕事(出前授業3年生)

11月中旬に、3年生は社会科の学習で、消防団との交流「消防特別授業」が行われました。消防士と消防団員の違いや、消防団の仕事の内容について教えていただきました。その後、消灯の合図などで使われる防災ラッパを目の前で披露していただきました。子供たちの感想では「地域の安全のためにやっていることや緊急の時は人助けをすることが分かってすごいと思いました。」や「かっこいい仕事だと思いました」などの声がありました。社会科の学習をさらに深めることができました。



(消防団について教えてくれた芝第5分団長の毛受さん)